



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理 念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療 患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に 医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い 安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療 ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の 育成を行います

第 1 回 JCHO 地域医療総合学会





2月26日、27日に行われた第1回 JCHO 地域医療総合学会に参加しました。JCHO (Japan Community Health care Organization)とは(独)地域医療機能推進機構のことです。平成26年4月から、全国の社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院、57病院がJCHOの直接運営となりました。

今回、東京都港区の JCHO 本部研修棟を含めた3会場で学会が行われ、「チーム JCHO による新しい地域医療のスタート〜ダッシュに向け全員参画を〜」をメインテーマに、一般演題が約500題、約2000名の参加がありました。初日は尾身理事長の開会に始まり、特別企画「JCHOへの期待、JCHOとしての応え」やシンポジウム「地域医療の革新と地域づくり」等、特別講演として世界的登山家・プロスキーヤー 三浦雄一郎さんの講演「80歳のエベレスト登頂」がありました。

2日目はシンポジウム「へき地及び JCHO 病院間医師派遣への対応 | や「事務職に求められる病院マネジメント |

などがあり、その間2日間各会場で一般演題発表が行われました。一般演題では、当院から私「県境に位置する地域医療支援病院における医療福祉連携室の役割」と薬剤部福島科長「病診・薬局連携における薬物療法の質と安全性の確保」と医事課 久保田係長「地域医療構想における当院の現状と課題」の3名が一般演題で発表し、総合診療科田浦部長がシンポジウムパネリストとして参加、「熊本県人吉球磨と総合診療医育成」について発表を行いました。どの病院のスタッフも、地域のため病院のため、自分達が何をできるか考え頑張っていることを肌で感じ、刺激を受けた2日間でした。

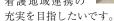
次回、第2回 JCHO 学会の開催は2016年9月16、17日、特別講演には2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された山中伸弥先生(京都大学iPS細胞研究所所長/未来生命科学開拓部門教授)を予定されています。

医療福祉連携室 山田 一裕

HMC 認定看護師研修会 開催

「地域看護への寄与を」という、ある一人の認定看護師の声で発足したこの研修会。コアメンバーを中心に企画・準備を進め、2月11日(祝)に40名の参加者を迎えて記念すべき第1回研修会を開催しました。

「ちょっと為になる話」をテーマとした 10 分野の認定看護師の講義のほか、ブース展開やヘリポート見学を行ないました。講義は、真剣な中に笑い声が広がる場面もあり、時に参加者と認定看護師達が「ヘー」と同時に大きく頷く瞬間、場を共有する看護師達の一体感を感じました。是非、この講義で聴いたことが各病院・施設における個々の実践に活かせるものになればと思います。また私自身、参加者からの質問は、地域看護師のニーズを知る上での貴重な情報となりました。





がん放射線療法看護認定看護師 樋口 和美

HMC 認定看護師研修会に参加して

今回の研修に参加して各認定看護師の皆様から、より専門的な看護の知識と自らの看護の基本を振り返る学びができました。また、この研修会を通じて認定看護師の役割も理解出来ましたし、工夫を凝らした講義で終日楽しく学ぶ事ができました。 今後もこのような機会があれば参加して行きたいと強く感じましたし、地域の看護師のレベルアップにもつながるものと思います。ありがとうございました。

特別養護老人ホーム 看護部長 福岡 勝幸



平成28年度診療報酬改定について

平成28年度診療報酬改定率は、全体で0.84%のマイナス改定となりました。内訳は、技術料等の本体部分がプラス0.49%、薬価・材料価格等がマイナス1.33%でした。今回の改定の基本的な考えとしては、日常的な診療や情報提供を行う「かかりつけ」の医師、歯科医師、薬局・薬剤師への報酬を手厚くし、大病院との役割分担で医療の効率化を図る。また、在宅を中心に住み慣れた地域で暮らす事のできる体制をつくり、少子高齢化の中で医療費抑制を目指すとされています。それでは改定の内容を少し見てみます。

· 7 対 1 入院基本料、重症度医療看護必要度: 2 5 %以上(現 行 1 5 %以上)

(A項目、B項目の見直し・追加、該当基準の見直しがあります)

- · 在宅復帰率: 80%以上(現行75%以上)
- ·特定集中治療室管理料、重症度医療看護必要度:70%以上 (現行80%以上)

(A項目の見直し、該当基準の見直しがあります)

- ・栄養サポートチーム加算、歯科医師連携加算:50点(新設)
- ·退院支援加算1:600点(新設)
- ·退院後訪問指導料:580点(新設)
- ・廃用症候群リハビリテーション料 (I):180点(新設)
- ・リンパ浮腫複合的治療料:200点(新設)
- ・緩和ケア病棟緊急入院初期加算:200点(新設)
- ·薬剤総合評価調整加算:250点(新設) etc.

今後、各部署との打ち合わせを行い、漏れがないように点数算 定を行っていきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

医事課長 前田 克美

※この改定に伴い、医療費の負担額が一部変更となる場合があります。 ご不明な点は職員までお尋ねください。

in 大畑小学校

薬物乱用防止講演会を行いました

H28年2月18日(木)に大畑小学校の6年生を対象に薬物 乱用防止講演会が行われました。

現在、保健の授業の中で薬物やタバコ・飲酒について学習をされている中での講演会でした。今回の内容には難しい事も含まれていたかもしれませんが、生徒のみなさんが真剣に下川先生の話しを聞いている姿を拝見し嬉しく思いました。

薬物は身体へ大きな害をもたらし、時には重大な事件や事故を起こしてしてしまう要因になる危険なものであるということを知り、絶対に手を出してはいけないものであると感じられたのではないでしょうか。

質疑応答の時間には、「電子タバコは害がないのか」、「タ

バコの中にシンナーの物質が含まれているが逮捕されないのか」、「恋愛依存・ゲーム依存とはどのよう質ものか」という質問が挙がり、我々大



人でも考え付かないような発想に感銘を受けました。

当院では、この他にも様々な講演会を行っておりますので、 詳細につきましては当院へ直接お問い合わせください。。

地域連携室 小田 薫子

臨床研修医 修了挨拶

2年間の初期臨床研修を終え、医師としてようやく自分の専門分野を定めて歩き始めるスタート地点に立ちました。振り返れば、医師を志してから長い年月が経ったものだと、とても感慨深いものがあります。2年前の4月にこのHMCを見上げて身の引き締まる思いで研修を開始してからは、医師として医療に携わることの全てが初めて経験することであり、驚きの連続でした。2年間本当に多くのことを学ばせていただきました。学会発表の機会も与えていただきました。

4月には、新たな責任と決意を持ってスタートを切りますが、謙虚さを忘れず、人吉で学んだことを活かし、広い視野と心を持つ医師を目指して精進してまいります。

日々厳しくも温かく親身に

指導してくださった各科の先生方、すべてのスタッフの皆様に、 心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

臨床研修医(基幹型) 小川 晋太郎

後悔しがちな自分です。そのうえ優柔不断なのです。例えば、 とろろ蕎麦ときつねうどんで悩んだとします。どちらも魅力的で す。二つともいける気がしますが、本当に二つ頼めばお腹いっぱ いできっと後悔します。わかっているのです。

涙を飲んでどちらかに決めます。店員さんもいつまでも笑顔ではいてくれません。決めなければ。とろろ蕎麦を選んだとします。おいしいのです。文句はありません。でも心のどこかできつねうどんのお揚げのことを思っています。好きなんです、きつねうどん。な

んできつねにしなかったかなあ。きつねうどん食べたいなあ。 万事がこの調子です。もう嫌になることもあります。

そんな僕ですが、最近気づいたことがあります。当たり前のように過ごしてきた人吉での毎日は、とっても楽しかったなあ。ということです。

本当に皆様のおかげです。ありがとうございました。 ここで研修を修めることができたこと、後悔は1 ミリもありません。

臨床研修医(基幹型) 堀川 学

研修医2年目として人吉に来たのが昨年の4月で、あっという間に過ぎた1年間でした。研修医2年目でしたが、持ち前のやる気のなさで研修医としての蓄積は0の状態で人吉に乗り込みました。先輩方もおっしゃっているように一番怖かったのは救急外来でした。何をしていいか分からず、パニックになっていたのを今でも覚えています。しかし、そんな自分も心優しい先生方の丁寧な指導の下学ばせていただき、少しは成長できたのではないかと

思っています。また、看護師やメディカルスタッフも未熟な自分 に対して嫌な顔―つせず支えて頂き本当に感謝しております。

4月からはとうとう脳外科医として働くことになります。不安 でいっぱいですが人吉で学んだ知識を無駄にせず、今後の診療に 活かしたいと思います。

臨床研修医(協力型) 末吉 博之

2015年4月から、人吉医療センターで初期研修をさせていただいた河上純輝と申します。

熊本大学を卒業し、昨年度は、熊本大学医学部附属病院で研修をしておりました。研修する病院が変わり、また生活地も熊本市から人吉市に変わったため、戸惑いの毎日でした。そんな中、指導医の先生をはじめ、スタッフの方々や研修医の仲間に支えられて、充実した日々を送ることができました。

1年間という、わずかな時間ではありましたが数多くの経験を 積むことができました。 また、人吉の自然や食べ物、人の温かさなどに魅了され、この 地を離れるのがとても寂しく感じております。

4月からは、熊本大学医学部附属病院の整形外科に入局し新たな生活が始まります。

人吉に帰ってくる機会があれば、成長した姿をお見せできるよう日々精進します。

1年間本当にありがとうございました。また帰ってきます!

臨床研修医(協力型) 河上 純輝

今年3月で人吉での初期研修を終えることになりました。思い返せばあっという間でしたが、4月から半年間程は毎日が辛かった(特に救急外来の日)ことを思い出します。国家試験を何とか合格し医療の現場に足を踏み入れたわけですが、医師としてできることはほとんどなく、この先やっていけるのかいつも不安でした。そんな私も人吉で1年間研修し少しずつできることが増え、小さな自信をつけることができました。これも熱心に指導してく

ださった先生方、スタッフの方々のおかげであり大変感謝しています。研修医仲間にも恵まれ仕事でも仕事以外でもとてもよい時間をこの人吉で過ごすことができました。人吉で得たものはこれから医師としてやっていく中で大きな支えになると思います。1年間という短い期間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

臨床研修医(協力型) 古閑 丈裕

緩和病棟 ひなまつり

緩和ケア病棟にて、2月下旬よりひな祭りの飾り付けを 華やかに彩りました。ひな飾りの前でポーズをとりながら 写真撮影をしたり、3月3日には、各部屋にひなあられを お届けし、患者様、ご家族とともに季節を感じられる楽し いひとときを過ごすことができました。





日頃から人吉医療センターの皆様には大変お世話になっております。

また、昨年の話になりますが、日本医療マネジメント学会 第 14回九州・山口連合大会の大成功、誠におめでとうございます。 今回その学会の裏話を2つしたいと思います。

- ①学会後のある日、タクシーに乗った時の話ですが、運転手さんが「この間のカルチャーパレスであった学会すごかったですねー」と、「何がですか?」と聞き返すと「3日間とも、ホテル、旅館は満杯、食事処もいっぱい、二次会のスナックもいっぱい。それに私ども運転手も3日間は休憩所で休む暇もありませんでした。」とのことでした。学会の成功もさることながら、地元への経済波及効果も凄かったのではないかと思います。
- ②私は卓球を趣味にしておりまして、毎週吉村浩二先生達と 人吉医療センターの体育館をお借りして練習をさせてもらっ ています。その学会の2週間前に九州医学総会が長崎で開催 され「熊本人吉」でチームを組み、出場しました。長崎には 長崎日赤副院長のT先生という九州卓球界で強く有名な先生

登録医リレーエッセイ Vol.24

がいます。僕のような初心者に対しても遠慮なくバンバン打ち込んできて、遊んでもくれません。ツンとした表情で、ニヒルで嫌なやつなのです。 吉村先生が話しかけたところ、「2週間後学会で人吉に行くよ」とのこと。木曜夜の僕たちの練習に誘ったところ、行きましょうとの返事でした。当日、一緒に練習をすると、卓球の事、長崎の事、病院経営の事、色々気さくに話してくれました。あれ?T先生いい人かも。その後、みんなで食事に行き、アルコールが入ると、お互いに色んな話をしてあっという間に時間が過ぎました。T先生はいい人でした。それから二次会に行き、カラオケを歌い、大いに盛り上がり大変楽しい1日となりました。T先生は大変良い人でした。人吉医療センターのおかげで友人が一人できました。



誠心会 東病院 院長 東 敏寛

糖尿病を予防する食事 ~「野菜あと1皿(100g)」~

2月24日(水)、錦町保健センターにて食生活改善推進員リーダーを対象に「糖尿病を予防する食事について」のタイトルで講話および調理実習を行いました。食生活改善推進員とは、各市町村で構成し幼児のおやつ作りや保育園の親子教室、中学生の郷土料理、男性料理教室等ボランティアで活動している団体です。

講話では、糖尿病を予防するための食事についてポイントを2つにしぼって話しました。1つめは適正なエネルギー量の食事をとることです。適正な体重を保つためには日々の生活に必要なエネルギー量を摂取することが大切となります。必要なエネルギー量は年齢や性別、身長、体重によってひとりひとり異なるため、各自計算し確認してもらいました。2つめは健康を保つために必要な栄養素を過不足なく摂取することです。そのためには食事は抜かず、毎食主食・主菜・副菜をそろえることが重要となります。

調理実習では食物繊維の効果に着目し、野菜中心の献立としました。1日の野菜摂取量のめやすは $300^{\circ}350g$ ですが、本実習では1食で $100 \sim 150g$ 摂ることができます。食物繊維には満腹感を増し食べ過ぎを抑えてくれる働きや糖の吸収を遅らせ食後の血糖値の急上昇を抑えてくれる働き、糖分や脂質の吸収・排泄を促す働きがあります。皆さんもいつもの食事に野菜料理を1皿プラスしてみてはいかがですか?

栄養管理室 管理栄養士 北岡 志織





自転車部しっかり活動してます!!!

3月13日 宮崎県で行われた、グレートアース宮崎大会に 当院より7名が参加しました。

今年も例年通り3月に入ると施設の山口さんは、ひざ痛いとか腰が痛いとか言い出します。心理戦の始まりです。これにより部員はとうとうこの季節が来たかと感じます。

今大会の天気予報は曇りのち雨、早朝は4℃とかなり寒い中でのスタート。宮崎市内から日南海岸を走り日南市⇒飫肥(おび)⇒北郷温泉から山越えして田野⇒宮崎市内まで125キロのコースを走ります。6時30分にスタートしゆっくりと海岸コースを楽しみながら走る部員と日頃の練習の成果を他の参加者で試す部員など、楽しみ方が様々なことも大会に出る醍醐味。全員が14時過ぎには完走し、大会後は断トツで早かった部員の

ショートカット疑惑を噂したり、エイドで他人の分まで饅頭食べたとか、2度盛り上がります。上下関係なく和気あいあいとなるのも自転車部の楽しいところだと思います。

今後の大会スケジュールは4月阿蘇、5月高千穂、9月英彦山・湯布院、10月人吉、11月大隅などに向け練習を行います。 大会へはクロスバイクやマウンテンバイク・ミニベロで参加する人もたくさんいますので、興味がある職員は近くの部員に声を掛けてください。

最後に12月のソフトボールの試合で、空振りして膝を痛めた連携室 山田さんの自転車部への早い復帰とダイエットの成功を祈ります。

臨床工学部 宮原 俊介





3月17日 (木) 当院3階講堂にて送別会を行いました。3月31日付で25名が退職・異動となります。中には30年以上勤務された方もおり、思い出話に花を咲かせていました。

この度、定年退職を迎え、院長先生はじめ皆様には永きにわたり本当にお世話になりました。感謝申し上げます。

人吉総合病院には昭和52年に入職し、39年間勤めさせていただきました。人生の3分の2はこの病院で過ごしたと思いま

す。この間に、病院移転を2回、また病棟や外来、OPE室など異動を11回経験しました。

楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、苦しかったこと、色々な場面が思い出されます。特に、院内旅行は楽しい思い出の一つです。沖縄から北海道、海外に行った時代もありました。病院機能評価では、皆一丸となって頑張りました。いつも私の心情には「今この時を大切に」という思いがありました。目の前の課題から逃げ出したい時にはいつもそばには共に働くスタッフや同志がいました。様々方に助けられどのような困難も乗り越えられたと思います。ここ人吉医療センターで働けたことは私の誇りであります。

最後に皆様のご健勝とご活躍を、そして人吉医療センターの ご発展をお祈り申し上げます。

長い間本当にありがとうございました。

6 階病棟 看護師長 上田 恵美

特別臨床実習(地域医療・産婦人科)

熊本大学の特別臨床実習「地域医療」として2月1日からの 三週間、人吉で実習させていただきました。

例年、地域医療の実習は一週間でしたが、今年度は三週間という長い期間実習させていただくことで地域の雰囲気をより感じることができたと同時に、多くの先生、医療スタッフの方、患者さん、ご家族の方と、より深いコミュニケーションをとることができました。様々な視点からより良い医療について考えさせられる機会となりました。

人吉医療センターでは総合診療部の田浦先生をはじめ多くの 先生に指導していただきました。実習内容は救急外来、病棟実 習、回診、総合診療外来、小児科外来、代謝内科外来、ドクター ズ会、プライマリケアカンファ、断煙外来、リンパ浮腫外来、 訪問診療、訪問看護、緩和医療勉強会、漢方勉強会、小学校へ の出張講演、手術見学などと、すべてあげられないほど充実し た内容で、随所で地域医療の現場というものを目の当たりにし ました。

また人吉医療センターから一時間かけて人口1200人の五木村の診療所にも通い、病診連携を体験しました。



木村院長先生ともお話しする機会をたくさんいただき、人吉 医療センターの取り組みや人吉球磨の素晴らしさを紹介してい ただきました。

週末は個人的に人吉の源泉かけ流しの昔ながらの渋い温泉に入ったり、球磨川サイクリングコースを散策したりと、風情ある人吉球磨を満喫しました。

毎日毎日が新しいことの発見で、大学では学び得ない有意義な 実習ができたと思います。貴重な実習をありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 松本 英展

実習の一環として、1月19日から1月22日朝までのおよそ三日間、人吉医療センターでお世話になりました。先生方はとても親切で、臨床において重要な知識や考え方を分かりやすくご教授くださいました。勉学という意味でも、臨床での経験という意味でも、大変充実した三日間となったことに感謝いたします。また、医学に関することだけでなく、人同士の繋がりという面でも貴重な学びがありました。特に印象的だったことが二つあります。

一つ目は大竹先生がお話しくださった、患者さんとのコミュニケーションのことです。先生は「患者と話すときは上から行っても下から行ってもいけない。距離が遠過ぎると、何を言っても相手の心に響かない。近過ぎると、今度はこちらが厳しいことを言えない。その距離感がとても難しい。」と仰いました。私は医師と患者のやり取りは主に、必要な情報を得る、或いは与えるためのものだと思っていました。しかし、先生のお話から、医師が人の命に関わる職業である以上、ビジネスライクにはやれない時が必ず来ると気付かされました。そして、そういう場面で大切になるのは、結局は相手との心の距離感なのだと

思いました。

二つ目は医師同士の繋がりについてのことです。人吉に行って初めて、院長の木村先生と外科の下川先生、そして内科の中井先生が、熊本大学



時代に私の母と同期だったことを知りました。予想もしなかった繋がりにはじめは驚きましたが、先生方には何かと目をかけていただきとても心強かったと同時に、実習に益々身が入りました。今回このような有り難いご縁に恵まれたことで、改めて先輩方や同期、そして後輩との繋がりを、これまで以上に大切にしていきたいと思いました。

短い間でしたが、大変お世話になりました。木村先生や大竹 先生、産婦人科の先生方をはじめ、人吉医療センターの皆様に はまたとない貴重な経験をさせていただきました。本当にあり がとうございました。

> 熊本大学医学部医学科5年 産婦人科クリニカルクラークシップ 池邉 壮



ひとよし春風マラッニ

今年13回目のひとよし春風マラソン。あまり走るのが好きではない僕も第1回大会からほぼ毎回のように参加しており、過去に不参加だったのが膝の怪我とサボったのと申込遅れの3回だけで今年10回目の参加となりました。僕の他にも多数の職員が参加したので、ちょっとだけ紹介します。まずはハーフの部に脳外科山本先生、歯科別府先生、画像診断センターの丸尾さん、経理課の松村さん、いつでも元気娘な地域連携室の小

田さんなど6名が参加。 $5 \text{ km} \cdot 3 \text{ km}$ の部に病棟看護師さんや研修医など数名、そして私も参加した10 kmの部には永遠のアイドル脳外科工藤先生、リハビリの田上くん、病棟看護師と画像診断センターから7名程、2週間程前にくしゃみでギックリ腰になってしまった木原くんや、諸見さんなど約12名と最も多くの参加でした。

今年1月の大雪で練習する気が完全になくなり、大会を迎え 散々な結果でしたが来年も沿道で応援していただける多数の 方々に笑顔と元気を提供できるよう走りたいと思います。

臨床検査部 浜津 育宏

ひまわり会(乳がん患者会)開催

3月10日当院研修室において、「花粉の季節にアロマを!!」 をテーマに、ひまわり会を開催しました。

当院の川口ゆき看護師からのアロマを使用する目的やその効果についての説明の後、実際に精油を使ったアロマスプレー作りを行いました。

スプレーには、ティートリー(強い殺菌力、抗菌力、抗真菌力を持つ)、ユーカリ(風邪・呼吸器系の炎症に効果がある)、ペパーミント(爽快感があり、鼻づまりや消化器の調子を整えるのに役立つ)をブレンドし、花粉の季節にとりいれたい気分スッキリスプレーを作成しました。

参加された方からは、「スーッとする香りがいい」、「自分でもスプレーを作ってみたい」といった感想の他、「精油は何処で購入できるのか?」などの質問もあり、和気藹々とした時間を過ごすことができました。「スーッとする刺激のある香りが苦手」と言われる方もおられましたが、香りの好みは人それぞれで、直感的に気に入った香りの精油は、自分の心身が必要としている場合が多いそうです。

アロマセラピーでは、植物がもつ香りや有効成分が凝縮され た精油を使って、自然治癒力を高め、健康維持や疲労回復、体 調不良などの心身の不調を癒す効果が期待できます。

まずは、お気に入りの香りを見つけることから始め、アロマを生活の中に取り入れてみませんか?

新任紹介



うちむら 繋い 内村 舞 (9階・看護師)

最終卒業校:鳳凰高等学校 趣味:カラオケ モットー:為せば成る

自分の性格:マイペース、おっちょこちょい

自分のコマーシャル:一生懸命頑張ります、よろしくお願いします

ルいば いずみ 椎葉 泉 (手術室・看護師)

最終卒業校:福岡県私設病院協会看護学校

趣味:旅行、料理

モットー:健康志向、体力づくりをモットーにしております 嬉しかったこと:博多警察署より表彰されたことがあり、困るも嬉し

くもありました

自分の性格:真面目、明るく穏やか

自分のコマーシャル:看護師として、様々な視点からの看護を行い、 気付きを大切に看護職に取り組んで参りたいと思います。又、様々な 活動に活発に参加できればと思います。どうぞ宜しくお願いします。



藤村 美和 (5階西・看護師)

最終卒業校:鳳凰高等学校 モットー:笑顔

自分の性格:マイペース

自分のコマーシャル: 1日でも早く仕事に慣れるよう頑張ります。よろしくお願いします。



井上 ひかり (外来クラーク)

最終卒業校:西南学院大学

趣味:DVD鑑賞

好きな言葉: If you can dream it,you can do it.(夢見ることができれば、それは実現できる)

自分のコマーシャル:一日でも早く仕事を覚え、皆さんの役に立つ人材になるように頑張ります!よろしくお願いします。



宮本 美紀(予防医療センター/医療クラーク)

最終卒業校:人吉高等学校 趣味:韓流ドラマ鑑賞 好きな言葉:一期一会

長所:プラス思考 短所:優柔不断

自分のコマーシャル:業務に早く慣れ、楽しく仕事ができるよう頑張りたいと思います。スタッフの皆様、よろしくお願い致します。



井ノロ ひろみ (医療福祉連携室/医療クラーク)

最終卒業校:福岡女学院短期大学 好きなこと:ビールを飲むこと 好きな言葉:カンパーイ!!

自分の性格:明るく元気

自分のコマーシャル:楽しく仕事をしたいと思っています。初めての分野ですのでドキドキですが、お役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

8月の勉強会報告

3月3日(木) Live on Seminar

「明日から役立つ周術期感染対策~皮膚消毒を中心に~」

NTT東日本関東病院 副院長·外科部長/

厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)事業運営委員

針原 康 先生

3月10日(木)第86回 消化器カンファレンス

「当科におけるC型慢性肝炎インターフェロンフリー治療について」

人吉医療センター 消化器内科 高野 理恵子先生 「右傍結腸溝ヘルニアの一例」

人吉医療センター 外科 塚本 雅代先生

3月24日(木)人吉・球磨救命救急講演会

「地方ごとで異なる救急診療」

久留米大学 救急医学 客員教授/疋田医院 院長 疋田 茂樹先生

3月29日(火)人吉市・球磨郡 糖尿病講演会

「生活習慣病における接触と運動についてのあらたな理解」

宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光先生

